

令和4年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により今まで通りの大規模イベント等ができずにいたが、小規模イベントにして感染症対策を徹底し工夫をしながら開催を実施した。センター来館者数は少しずつ戻り、利用者自身の新型コロナウイルス感染への不安は減少してきたように思えます。相談支援では親なき後から一人暮らしのケース相談が増え、生活支援センター支援に繋げ生活支援センターのフリースペース利用、食事サービス利用等に繋がった。又、区内地域ケアプラザとの連携や区役所の地区支援チーム会議の参加により連携が強化され、区内におけるセンターへの期待や要望等を把握できたことで、新たな地域ニーズに対する相談体制ができた。

今後も引き続き利用者支援のより良い方法を検討すると共に地域における精神障害者やメンタルヘルスの不調の方への課題の解消に向けた支援を検討していきます。

■ 事業内容

- 1 開所日数 : 308日
- 2 登録者数 : 1,313名 (男性 769人、女性 544人)
- 3 来館者数 : 7,965名
- 4 事業実施状況
 - (1) 本体事業
 - ア. 日常生活支援
電話相談 5,418件、面接 805件、フリースペース対応 861件
訪問・同行 304件、その他 7件
 - イ. 有料サービス
夕食サービス 3,586名、入浴サービス 322名、洗濯サービス 130名、
インターネット 36名
 - ウ. 嘱託医相談
相談回数 24回 相談者 53名
 - エ. カウンセラー相談
相談回数 12回 相談者 29名
 - オ. 自主事業
*定例事業
誕生会 (10回:123名)、利用者ミーティング (12回:134名)、
姫の会 (3回:38名)、リハビリ講座 (12回:96名)、
ゆるっと女子会 (7回:34名)、ひだまり参加 (34名)、昼カラオケ (中止)、
*その他イベント等
初詣 (19名)、納涼会 (15名)、クリスマス会 (27名)、お花見 (17名)、
いたちまつり (400名)、ようこそ出会い広場 (6名)、区民まつり (12名)

カ. 普及啓発活動

例年実施している生活支援センター及び精神障害への理解に対する関係機関及び団体向けの勉強会、説明会等は、令和4年度新型コロナウイルスの影響は少なくなったものの問い合わせは少なかった。但し、地域ケアプラザ職員向け勉強会、地区支援チーム会議、ケアマネージャー勉強会、後見的支援制度あんしんマネージャー研修において、生活支援センターの紹介や機能など、地域に果たす役割について講義した。

キ. その他

- ・高齢化率の高い栄区の地域課題として「8050問題」「親なき後問題」があげられ、家庭内の問題（精神障害者のひきこもり、親なき後の一人暮らし等）についての相談が、区役所、又は区内地域ケアプラザからの相談が増えている。区内地域ケアプラザに対し相談担当職員を配置し、相談体制の強化を図った。
- ・区内地域ケアプラザに担当窓口職員を配置し、地域における課題についての相談窓口としての機能を強化した。定期的な情報共有の場を設けるとともに、一か所であるが地域ケアプラザでの出前相談会を実施している。
- ・令和4年度は、家族会・区役所・生活支援センター共催の精神科家族教室を実施。精神科病院の薬剤師を講師に招き、一般家族の方向けに「家族が学ぶ精神科の薬について」を実施した。

(2) 自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

地域において単身で生活する精神障害者（自立生活アシスタント事業該当者）の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

相談依頼は区役所の障害者支援担当、生活支援課など行政機関、計画相談事業所、基幹相談支援センターからあり、支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、センター内で自立生活アシスタントチームとして月1回のミーティングを実施、利用状況・目的・ケース問題を共有し、問題解決に向けて話し合いをしている。

自立生活アシスタント利用終了者については、利用者及び関係機関と相談の上、センター本体事業へと繋ぎ対応した。

尚、自立生活援助事業については、区役所と連携し実施について検討しているが、今年度利用者はいなかった。

○登録者数 11名（相談中 4名、終了者 3名）

○支援内容

- 1 金銭管理（計画性の指導・助言・管理）・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護、病院との連携
- 5 住環境整備（部屋の片づけ、引越しの援助、）・・・ヘルパー事業所、不動産業者との連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問（生活状況の把握、精神的安定）
- 9 その他日常生活における問題の相談

(3) 退院サポート事業／地域移行・地域定着支援事業

新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和している中、病院への面会も徐々にできるようになった年であった。ただ協働活動、普及啓発活動は引き続きできない状況が続いているため、退院サポート事業及び地域移行・定事業も新規の相談依頼は滞っているのが現状である。また、舞岡病院の OT プログラム（かたつむり）も同様に中止となっている。

○支援者数 3名（相談中 0名、退院後フォロー 0名）

(4) 計画相談事業（指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業）

区役所障害者支援担当と連携し、障害福祉サービスを利用する利用者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携を行い、利用者が安心して日常生活を過ごせるよう支援しました。

又、区内精神障害者対象の計画相談事業所が少ないため、区外で栄区をエリアとしている近隣区の事業所に声を掛け「栄区計画相談連絡会」を実施、ケース共有・検討・その他定期的な打合せを行っている。

○総件数 22件（特定相談件数 22件） 相談中 6件

(5) 防災訓練

- ・第1回、第2回共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び生活支援センターの利用者参加による避難訓練は中止とし、両職員による避難経路確認及び消火設備確認を行った。
- ・福祉避難所開設訓練
令和5年3月16日（木）13:30～15:30
小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同で、区役所高齢・障害支援課高齢・障害係係長より講義「福祉避難所とは？開設にあたって注意すべき点」「段ボールベッド組み立て及び設置訓練」を行った。

■法人及び関係機関等会議及び行事 等

(1) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議・実務者会議、三機関合同連絡会、地区支援チーム会議、成年後見サポートネット会議、アウトリーチ支援会議、自殺予防対策分科会、福祉避難場所連絡会、栄区地域自立支援協議会、精神部会・相談支援部会、栄区ネットワーク会議、三機関定例カンファレンス
- ・自殺対策キャンペーン、ふれあい交流事業、区民祭り、新年祝賀会、各種研修会

(2) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・生活支援センター連絡会、南部若者支援連絡会、さかえ会（家族会）
- ・サポートセンター径運営委員会、みちくさみち理事会、こだちの会運営委員会、小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、小菅ヶ谷つながるプラン全体会・分科会、移動情報センター推進会議、後見的支援室とんぼ報告会
- ・南部若者支援連絡会、地域ケア会議、栄区社会福祉大会、さかえ福祉フェスタ、区社協専門機関部会障害者支援分科会、駅前祭り、小菅ヶ谷地域敬老会、
- ・障害者週間キャンペーン

(3) 市精連関係

- ・市精連相談部会
- ・市精連研修会

(4) 法人関係

- ・施設長会議、研修委員会、広報委員会、研修会
- ・法人理事会、評議員会
- ・法人全体研修

■ 研修会参加

(1) 外部研修

- ・支援、援助技術関係（8回）、
- ・医療、薬関係（1回）、
- ・災害関係（0回）、
- ・メンタル、リスク関係（1回）、
- ・その他、一般関係（0回）
- ・センター連絡会新任研修（4回）

(2) 法人関係

- ・法人研修（10回）

■ 実習生受け入れ

(1) 精神保健福祉士関係実習 : 11名

(2) 看護関係 : 51名

(3) その他 : 0名

以上

令和4年度 栄区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 決算額のうち 法人負担金額 | 差 額 | 備 考 | |
|------------------------------------|------------|------------|------------------|-------------|-------------|---------------------|
| I 収入の部 | | | | | | |
| 1 指定管理料収入(当初) | 86,175,000 | 86,175,000 | | 0 | | |
| 2 指定管理料収入(変更) | 0 | | | 0 | | |
| 3 法人負担金 | 0 | | | 0 | | |
| 4 相談支援事業に要した交通費収入 | 0 | | | 0 | | |
| 5 自立支援給付費収入 | 0 | 1,001,496 | | ▲ 1,001,496 | | |
| 6 食事サービス収入 | 0 | 1,459,000 | | ▲ 1,459,000 | | |
| 7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入 | 0 | 36,577 | | ▲ 36,577 | | |
| 8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設等物価高騰対策支援金等) | 0 | 483,000 | | ▲ 483,000 | | |
| 収入合計 | 86,175,000 | 89,155,073 | | ▲ 2,980,073 | | |
| II 支出の部 | | | | | | |
| 戻入精算 | 1 人件費 | 64,762,000 | 55,552,409 | 0 | 9,209,591 | |
| | 所長 | | | | ▲ 925,560 | |
| | 常勤職員 | | | | 2,705,776 | 常勤5名 |
| | 非常勤職員 | 14,005,000 | 11,060,366 | | 2,944,634 | 非常勤4名 |
| | アルバイト | 4,662,000 | 2,883,242 | | 1,778,758 | アルバイト2名 |
| | 調理アルバイト | 2,853,000 | 2,941,993 | | ▲ 88,993 | 調理6名 |
| | 嘱託医賃金 | 989,000 | 634,802 | | 354,198 | 嘱託医3回/月、カウンセラー1回/月 |
| | 法定福利費 | 7,728,000 | 5,343,312 | | 2,384,688 | 健康保険、厚生年金他 |
| | 退職金給与引当金 | 936,000 | 946,680 | | ▲ 10,680 | 中退金 |
| | 福利厚生費 | 170,000 | 109,230 | | 60,770 | 健康診断、インフルエンザ |
| 労務厚生費 | 60,000 | 54,000 | | 6,000 | ハマフレンド | |
| 戻入精算 | 2 施設管理費 | 7,553,000 | 9,370,504 | 0 | ▲ 1,817,504 | |
| | 光熱水費 | 3,700,000 | 4,260,276 | | ▲ 560,276 | 電気、ガス、水道 |
| | 庁舎管理費 | 3,453,000 | 4,573,651 | | ▲ 1,120,651 | 施設管理、清掃他 |
| | 修繕積立金 | 500,000 | 500,000 | | 0 | 年度末残高¥2,000,000 |
| | 利用者負担金充当金 | ▲ 100,000 | 36,577 | | ▲ 136,577 | (入浴・洗濯・インターネット収入から) |
| 戻入精算 | 3 運営費 | 8,100,000 | 6,022,744 | 0 | 2,077,256 | |
| | 旅費 | 350,000 | 250,005 | | 99,995 | 旅費交通費 |
| | 消耗品費 | 600,000 | 600,332 | | ▲ 332 | 事務用品他 |
| | 印刷製本費 | 250,000 | 212,622 | | 37,378 | パンフレット、チラシ作成他 |
| | 修繕費 | 1,500,000 | 260,150 | | 1,239,850 | 埋込型ベースライト交換・工事・処分費等 |
| | 通信運搬費 | 1,100,000 | 1,129,135 | | ▲ 29,135 | 電話、ネット、切手他 |
| | 賃借料 | 2,000,000 | 1,814,315 | | 185,685 | 車両、PC、コピー機他リース料 |
| | 備品等購入費 | 500,000 | 395,789 | | 104,211 | |
| | 保険料 | 300,000 | 343,672 | | ▲ 43,672 | 施設賠償保険 |
| | 雑費 | 1,500,000 | 1,016,724 | | 483,276 | 研修費、会費他 |
| 4 本部繰入金 | 5,760,000 | 5,280,000 | | 480,000 | | |
| 5 食事サービス費の支出 | 0 | 1,452,984 | | ▲ 1,452,984 | | |
| 6 その他の実費からの支出 | | | | 0 | | |
| 支出合計 | 86,175,000 | 77,678,641 | 0 | 8,496,359 | | |
| III 戻入の部 | | | | | | |
| 人件費戻入精算分 | | 9,209,591 | | | | |
| 戻入合計 | | 9,209,591 | | | | |